

本郷高校新聞

本郷高等学校新聞委員会
-HONGO HIGH SCHOOL NEWSPAPER COMMITTEE-

発行所
〒170-0003
東京都豊島区駒込4-11-1
電話 03-3817-1455

-第60号-
(PC版)
編集長 松島 大翔

復活！体育祭マスコットキャラクター

体育祭に先駆け独占先行公開

体育祭のマスコットキャラクターが今年度から復活する。
昔、本郷の体育祭にマスコットキャラクターは存在していたのだが、今年度、応援委員会が主体となつて、復活を果たした。

「チアリー」はチアリーリーダーをモチーフにした美麗なキャラクターで、赤を基調としたチアリーリーダーユニフォームを着こなし、ピンク色の髪を赤のリボン

でポニーテールにしている。性格は、明るくポジティブで元気すぎる。赤組のマスコットキャラクターを担当する。華麗にポンポンを振る彼女は、赤組の勝利の女神となるかもしれない。

「オーウェン」は学生服を着こなし、頭に白のハチマキを巻いた、つり目で凛々しい顔立ちの男前のキャラクター。性格は、我慢強く明るい。白組のマスコット

トキキャラクターを担当する。白の手袋をした固く握られた左拳からは白組を優勝に導くという確固たる決意が感じられる。

「ホンゴドリ」は皆さんご存知の通り、昨年度本郷祭で本校OBの曾山一寿先生が制作して下さったキャラクター。

今回は頭に青のハチマキ、そして学生服を着て青組のマスコットキャラクターを担当する。大きく広げられたその両腕(両羽?)からは、青組を優勝台へ羽ばたかせようという心意気が伝わってくる。

マスコットキャラクターたちが復活し、今年度の体育祭は更なる盛り上がりを見せそうだ。

OSのサポートが切れるというのは賞味期限が切れるようなものといえるだろう。生産方法を工夫し、包装技術を向上させ、保管環境を整えたとしても、元々の物が古いなら食べられる状態を維持するにも限界がある。

XPも発売から十二年以上たち、変化の早いコンピュータの世界ではすでに過去のものとなっている。本郷では第1・第2コンピュータ室のコンピュータのままで、ウイルス感染等を防ぐためインターネットに繋がらないようになっていく。そのため中学3年で行われる、技術の授業では、自分の興味のある職業について

2014年4月9日ウィンドウズXPのサポートが終了したが、日本国内では多くの機関で後継OSに切り替えられておらず問題になっている。本郷もその一つだ。

コンピュータにインストールされているオフィス2003のサポートもXPと同じ日に切れている。また、2003以降のバージョンのオフィスでは、かなり操作感が変わっている。コンピュータの入れ替えは、8月に計画されているコンピュータ室の移動とともに進む予定だ。場所は今のコンピュータ室と同じ5号館の3階、昨年度まで特進の教室があったところになる。

入れ替える新しいコンピュータは具体的にまだ決まっていない。現段階だと、ウィンドウズ8.1を搭載したデスクトップ型のコンピュータになる可能性が高いようだ。



ILLUSTRATED BY KANSAN MANGA-GEKKA CLUB

↑赤組を担当するチアリー
←白組を担当するオーウェン



©曾山一寿

ILLUSTRATED BY KANSAN MANGA-GEKKA CLUB

↑青組を担当するホンゴドリ

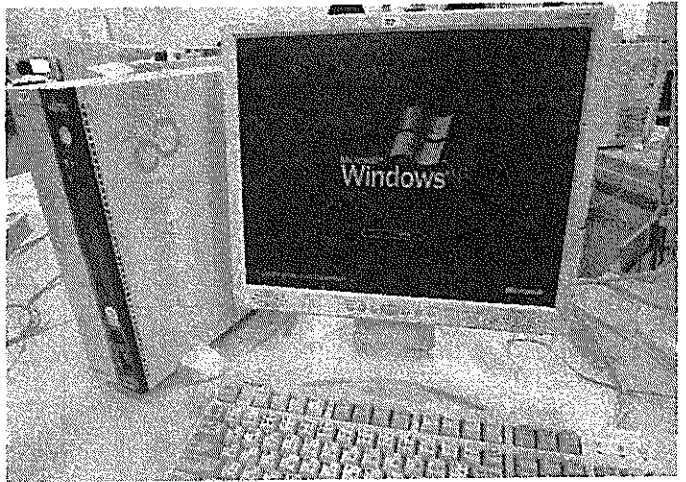


ILLUSTRATED BY KANSAN MANGA-GEKKA CLUB

XPサポート終了

コンピュータ室 5号館3階へ

次期PCはWindows8.1?



憲

日本には、国民審査という制度がある。知っての通り、日本の最高裁判所の裁判官の信任決議をとるという制度だが、今までこの制度によって罷免された裁判官は一人もいない。四月二十三日水曜日、第一回の公開討論会が行われた。議題は「生徒総会に教員が立ち会おうか」について。活発な意見が交わされ、今後の生徒総会のあり方などについての見通しは立ったものの、生徒会関係者や取材目的で参加した新聞委員以外の参加はなかった。国民審査には、民主主義国家として「行っている」こと自体に意義があるのだという意見がある。しかし、いかに意義があつたとしても自身が全くないのも問題だろう。▼公開討論会にも同じことが言える。今回は関係者のみの参加。「公開」の意味はほとんど無かった。一般生徒に意見を言う機会を作るといふこの制度は、事実上機能しなかった。事前告知が遅かったこと、生徒の関心を引くことができなかったこと、そして興味を引けるような議題で無かつたこと、この三つが原因だろう。▼今回の議題についても、先生方を中心に疑問の声があつたと聞かすが、少なくとも生徒総会のあり方に関する議論は有意義なものであつた。公開討論会を今後どう扱うのか。「行っている」ことに意義がある、のレベルにとどめるにはもったいないように思う。(52 園)

OSのサポートが切れるというのは賞味期限が切れるようなものといえるだろう。生産方法を工夫し、包装技術を向上させ、保管環境を整えたとしても、元々の物が古いなら食べられる状態を維持するにも限界がある。

XPも発売から十二年以上たち、変化の早いコンピュータの世界ではすでに過去のものとなっている。本郷では第1・第2コンピュータ室のコンピュータのままで、ウイルス感染等を防ぐためインターネットに繋がらないようになっていく。そのため中学3年で行われる、技術の授業では、自分の興味のある職業について

2014年4月9日ウィンドウズXPのサポートが終了したが、日本国内では多くの機関で後継OSに切り替えられておらず問題になっている。本郷もその一つだ。

コンピュータにインストールされているオフィス2003のサポートもXPと同じ日に切れている。また、2003以降のバージョンのオフィスでは、かなり操作感が変わっている。コンピュータの入れ替えは、8月に計画されているコンピュータ室の移動とともに進む予定だ。場所は今のコンピュータ室と同じ5号館の3階、昨年度まで特進の教室があったところになる。

入れ替える新しいコンピュータは具体的にまだ決まっていない。現段階だと、ウィンドウズ8.1を搭載したデスクトップ型のコンピュータになる可能性が高いようだ。